

平成 22 年度 日本神経生理検査研究会 [総会] 記録

H22.5.21 20:00~20:40 神戸市勤労会館 2F

書記 石郷 景子

1.開会の辞 (水野)

2.会長挨拶(高橋)

- ①今年度より3月決算になった。
- ②メーリングリストで新メンバーの方(若い会員)の質問が多くなってきた。
- ③全国規模でのつながりがあることは嬉しい。

3.議長選出

執行部一任で水野となる。

出席 21 名、委任状 54 名。会員 422 名の 1/10 以上出席とし総会成立。

4.書記任命 石郷

5.平成 21 年度事業報告

事業報告は高橋会長より報告。学術活動の出席者は 29 名。

アンケート調査事業の結果報告(瀬川)。(詳細は議案書 2010 参照)

6.平成 21 年度会計報告・監査報告

会計報告は会計河島より報告。

質問(石郷)・・・本部への会費納金について、未納の会員分の立替えはなしか。

返答(水野)・・・納金した者のみを会員とし、その総数の金額を納金し、立替えはしない。

会計監査報告は石郷より報告。

7.平成 21 年度事業報告および会計報告の採択

拍手をもって承認された。

8.平成 22 年度事業計画案・予算案

事業報告は高橋さんより報告、本日の学術活動の出席者は 30 名。

予算案は会計河島より報告。

9.平成 22 年度事業計画案・予算案の採択

拍手をもって承認された。

10.一般議題

1)全国講習会の開催について

事務局瀬川より報告。

追加発言(全国講習会準備担当宇城):植松と共に検討を重ねていきたい。

追加発言(鶴岡):提案中です。

意見(丸田):アンケートに基づいて施行するのがいいのではないか。少数でも参加したい人がいるのなら、まず実行し、数年たったら見直しをしてはどうか。

返答(高橋):開催場所は途中で変えていきたいと思う。日臨技も執行部が変わり、開催場所もかわるかもしれない。各地区も頑張ってきている。単独開催に向けて準備。

意見(斎藤):5年間のプロジェクトで他の人を取り入れ、打ち上げていくのはどうか。

返答(高橋):評議員会でも話し合いをしている。決定したとしても、絶対守るというのでなく柔軟に取り組みたいのでその意見は参考になる。今後も評議員会で検討を続けたい。また若手(宇

城、植松)をどんどん起用し活性化させたい。

意見(宇城):研究会開催は、日臨技を離れて開催をするよう考案しているが、総会も同時開催ですか。

返答(高橋):同時開催で検討しています。

意見(斎藤):時期によっては開催が難しいのではないですか。

返答(高橋):確かにその通りです。考案しましょう。

意見(鶴岡):全国研修会の目的をもう少し整理してはどうですか。会費を集めるためか?総会のためか?それと同時に地区で100名を超える地区との位置づけはどうなるのかを検討してほしい。今回の15回は記念的な講演会だと思う、目的を整理し、何のために全国研修会をするのか再考するいい機会です。

返答(高橋):検討します。

意見(斎藤):メーリングで小児の臓器移植の話がでていました。スペシャリストとして情報をだしていかなくてはいけないのでは。環境整備を先取りして伝えていかなくてはいけないのでは。

返答(高橋):新しい情報は欲しいと思う。しかし、人の命にかかわることであるので、間違った情報を先取りしてしまうも危険であり、慎重に考えていきたい。

追加返答(水野):情報があっても確定ではないので、私たちが伝えていいものか。

意見(斎藤):一人職場で行っている不安を解消するような方向にもっていかなくてはいけないのでは。

追加返答(水野):貴重な意見を踏まえて今後さらに検討を重ねる事とします。

それでは承認していただけるのでしょうか。拍手で。

拍手をもって承認された。

2)その他:特になし

11.平成22年度役員信任

執行部案を紹介し、各役員案を紹介した。新役員を含めて拍手で承認された。

12.書記解任

13.議長解任

14.新役員紹介

出席した新執行部の起立紹介をおこなった。

15.閉会のことば(水野)